



食育おたより



令和元年度食育号⑧

リーチェル幼稚園

今回の食育活動は食育エコ活動で玉ねぎの皮を使用した染物体験を行いました。普段は食べずに捨ててしまう、玉ねぎの皮ですが染物の原料として利用が可能です。お鍋の中でグツグツと煮出した茶色の汁がとてもきれいなヤマブキ色に染まります。お友達は真っ白の布に模様をつけるために輪ゴムで模様づくりを行いました。少し難しそうなお友達も頑張って輪ゴムで縛ってキレイな模様をつくる為に作品づくりに取り組みました。

草木染め

草木染は、自然の中で培われた植物を染料とする染色であり、すべての植物が染材として使用できます。一般的に草木染で最良の染色をするためには、新鮮な染材を使用することが望ましいのですが、場合によっては採取した植物を一旦乾燥し、保存しておくことにより、いつまでも必要な時に楽しむことが可能となります。また、染材としての植物は、同一品種でも生育地や植物の成熟度などによって、同一の色素が抽出できないことがあり同じ色の再現が出来ません。逆に言うならば、正確に同じ色に染色できないからこそ面白味があり、時として、目を見張るような素晴らしい色が顕出されることもあります。

しかし、実際に染材を採取するにあたって注意しなければならないことがあります。それは、私達が植物を使って染色することは、自然と一体となることであり、自然回帰への願いであると思います。

身の回りの自然の草木や、普段捨てている野菜や果物の皮等に目を向け、少しエコ活動もいかがでしょうか。



今回の活動



今回の活動は、園庭で玉ねぎの皮を使い野菜染めを行いました。事前に子どもたちが玉ねぎの皮むきをお手伝いしてくれていました。その皮を大きな大きなお鍋でグツグツと煮込んでいきます。「何色になるだろう？」玉ねぎの皮から色がでるまで楽しみです。その間に真っ白なハンカチに輪ゴムをしばっていきます。しばった回数や本数、場所によって変わっていきます。同じ模様はでてこないの、子どもたちオリジナルのハンカチができてきます。そしてしばったハンカチをお鍋にいれていきます。玉ねぎの皮からでた色は…茶色でした。子どもたちからは「キャラメル色」「ラーメンのつゆみたい」といろいろな言葉がでてきました。これで終わりではありません。色を良くしてくれる魔法の粉「ミョウバン」の出番です。ミョウバンを溶かした水に、玉ねぎの皮で染まった茶色のハンカチをいれると…なんと、黄色に変わりました。今日一番の歓声が!!ミョウバンに30分ほどつけたら出来上がり!みんなで輪ゴムをはずして模様を確かめました。「みてみて!太陽みたい」「ハートができた」十人十色のハンカチのできあがりです。一生の宝物になってくれれば嬉しいです。